

## 新事務棟前の放射線量は 東京～ニューヨーク間往復の 約半分!

新事務棟前の1時間  
当たりの放射線量は  
0.28 $\mu$ Sv(平成28年  
2月測定)です。仮に  
ここで1日1時間を過  
ごすとして年間の被ば  
く線量に換算すると0.1022mSvにすぎません。この値は東京～  
ニューヨーク間を飛行機で往復した場合に受ける放射線量\*  
0.2mSvの約半分という低さです。



新事務棟前で過ごす時間を1日1時間として試算

$$0.28 \mu\text{Sv}/\text{hx}365 = 0.1022\text{mSv}/\text{年}$$

平成28年2月時点

※出典：電気事業連合会「放射線Q&A」(2014)ほか

### だから通勤だって普段着です。



水処理設備第一グループ  
田中ゆりえ

自宅からJヴィレッジまではマイカーを  
使い、そこからバスに乗って新事務  
棟へ通っています。放射線量の心配  
がないので普段着で通勤しています。

## Q&A

Q

OA機器や厨房機器などのメンテナンスに  
行くことで被ばくリスクを心配する必要はないの?

A

ハイ大丈夫です。  
新事務棟、大型休憩室、緊急対策室の安全性は  
厳しく管理されていますのでご安心ください。

Q

働いている人たちの休息、食事など  
厚生施設はどうなっているの?

A

大型休憩所には、あたたかい食事が食べられる  
約300人収容の食堂や協力企業のみなさん向け  
の冷暖房完備の休息スペースなど、気持ちよく  
安全に働いていただける環境を整えています。  
2016年3月にはローソンもオープンし、より一層  
の充実を図っています。

Q

発電所構内の労働環境は改善されているの?

A

敷地内のあらゆる場所で地表を舗装するフェー  
シング工事が実施され、放射線量が大幅に低減さ  
れた結果、一般作業服や簡易マスクで作業出  
来るエリアがご覧のように拡大しました。また、  
新たに装備交換所が設置されたことで、これまで  
は入退域管理施設などで防護服や全面マスクを  
装着して作業現場に向かっていましたが、現在  
は建屋周辺で作業をする場合でも装備交換所ま  
で一般作業服等で移動し、防護服に着替える  
事ができるようになりました。作業の軽減・効率  
化が実現しました。

各エリアと装備交換所の設置箇所



詳しい情報はこちら <http://1f-all.jp/>

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所  
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22 電話(0240)32-2101

2016.5

# 安心して働いていきます。

福島第一原子力発電所〔非管理区域〕



TEPCO

# 非管理区域は、一般のオフィスと変わらない環境です。

福島第一原子力発電所の構内は管理区域と非管理区域に分けられています。管理区域は無用な被ばくや放射性物質の飛散を防ぐため、線量計の携帯や防護服・マスク・手袋の着用を必要とするエリアのことです。



新事務棟はこうした管理を必要としない非管理区域で、約1,000名の社員が一般のオフィスと同じように普段着で働いています。



ちなみに大型休憩所と免震重要棟も非管理区域にあたります。

【ここが非管理区域】



## 労務グループ 工藤夏未

私は給与・サービス・社会保険手続き等、所員の皆さんが円滑に業務を行えるようサポートする仕事をしています。女性用の更衣室やトイレも普通のオフィス同様に整備されているので何も問題ありません。

## 福島復興給食センター(株) 廣崎真由美さん

私は食堂で配膳業務をしています。会社から放射線量の説明を受け、不安が無くなりました。みなさんが美味しく召し上がっているのを見るのが何よりうれしいですね。



## 総務グループ 佐藤亮太

私は発電所構内の全体の土地・建物の管理業務を担っています。他部門と関わることが非常に多い職場ですので、新事務棟と免震重要棟を行き来するのですが、一般服で移動できるようになったので楽になりました。安心して働ける職場であることは間違いないと思っています。



## 5・6号運営グループ 井手愛里

5・6号機の運転員が使用する運転操作手順書の作成・改訂等を担当しています。オフィスもとても綺麗で放射線管理もしっかりしていますし、安心して働いています。

